

再生可能エネルギーの活用に向けた新サービス提供に関する基本合意について

イオン株式会社（所在地：千葉市美浜区、代表執行役社長：岡田 元也、以下「イオン」）と中部電力株式会社（所在地：名古屋市東区、代表取締役社長：勝野 哲、以下「中部電力」）は、太陽光発電による再生可能エネルギーの固定価格での買い取りが終了を迎えるお客さま向けに、新たなサービスを提供することについて基本合意しました。

イオンは、「イオン 脱炭素ビジョン2050」を掲げ、目標のひとつとして2050年までに店舗で排出するCO₂等を総量でゼロにすることを目指しています。また、中間目標としては、2030年までに店舗で排出するCO₂を総量で35%（2010年比）削減することとし、各種施策を展開しています。

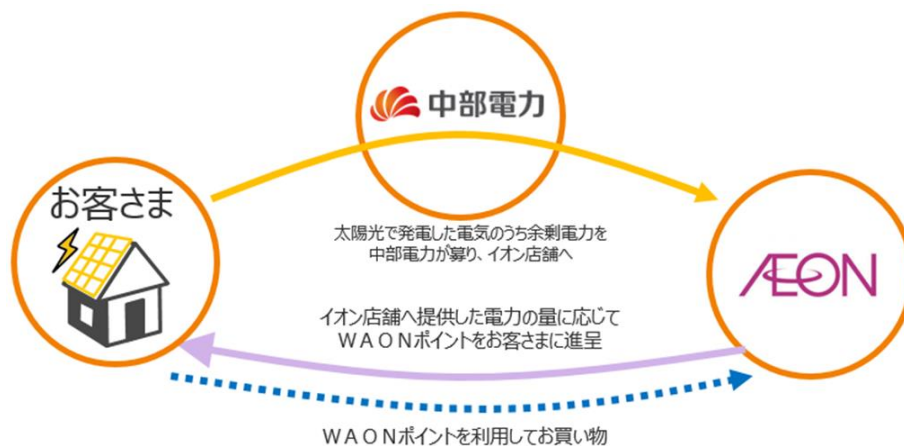
中部電力は、2019年11月以降、再生可能エネルギーの固定価格での買い取りが順次終了していくことを踏まえ、ご家庭で発電した電気を様々な形で取り引きできる「これからデンキ」のサービス提供に向けた準備を進めています。

本サービスは「これからデンキ」のサービスのひとつとして、ご家庭の太陽光発電による余剰電力を中部電力が募り、電力をご提供くださったお客さまには、その量に応じてイオンから「WAONポイント」をプレゼントさせていただくものです。また、イオンは中部電力から同電力の提供を受け、店舗運営のCO₂排出量削減の施策として活用していきます。

両社は、それぞれのもつ資源を活用し、お客さまへのよりよいサービスの提供に努め、再生可能エネルギーの利用を拡大することで、脱炭素社会の実現に向けて取り組んでまいります。

【サービスの概要（2019年11月開始予定）】

サービス提供エリア：中部エリア



※ 「WAONポイント」を、イオンの電子マネー「WAON」に交換することで、イオングループ内外のWAON加盟店（全国約41万1千カ所：2018年9月末現在）で、お買い物などにご利用いただけます。